

ま え が き 私 た ち は、電 気 の 中 で 暮 ら し て い ま す

「家の中から電磁波なんて、気のせいなんじゃないの？」

という言葉が飛び交う中、このテーマに取り組み続けて、10年…。

「一日だけブレーカーを落としてみてください！」

この言葉で始まった前著『オールアース時代がやってくる』を出版してから4年が経とうとしています。この間、私のもとには、「電磁波が原因ではないか」と悩む方、現実に電磁波過敏（※注①）で苦しむ方から、毎日のように相談が届きました。仲間とともに、全国の住宅やオフィスへと伺い、電磁波の測定を繰り返し、ありとあらゆる家電製品を調査して、電磁波の影響を最小限に抑えた住宅づくりに取り組んできました。

家庭の消費電力量は、この40年で6倍以上に増え、様々な家電製品によって生活が便利になった半面、その副作用として、ほぼすべての住居で多くの電磁波が発生しています。

しかし、私たちはその生活が当たり前になっているために、そして、電磁波というもの

自体が目に見えず、匂いもないために、その対策は、ほとんどの家庭でできていない現実があります。

まだ経験していない人は、是非、一度やってみてください。

「一日だけ、家のブレーカーを落としてみましょう！」

確かに、ほんのちよつと勇氣が必要です。電気を完全にシャットダウンするわけですから、テレビも観られず、パソコンも使えず、夜は電灯もなく、まったくの原始生活になってしまいます。

でも一日、過ごしてみたら：：、どうでしたか？

いままで感じたこともない空気の透明感、身体が軽くなったような感覚を覚えるはずでず。頭がすっきりして、新しいアイデアが浮かんできたり、肩こりや頭痛が治まってしまったりすることもあるかもしれません。

日本では明確な電磁波の測定方法や対策方法の基準値というものがいないため、家電製品だけでなく、床や壁に縦横無尽に敷き詰められている電気配線からも電磁波が発生していることは、まだまだ知られていません。その電磁波が私たちの身体や精神状態に少なからず影響を与えていることは、ちよつとブレーカーを落としてみるだけで、簡単に体感する

ことができるのです。

とはいえ、もはや私たちは電気を使わずに生活することは、不可能です。この電気の副作用がある程度わかっているながらも、「まあ、仕方ないか：：：」と考えている人がほとんどではないかと思えます。

しかし、その電磁波を抑制するための解決策があります。

それは、アース⇨電気を地中に逃すこと。じつに、電磁波対策とは、複雑な装置や高額な製品などまったく必要なく、正しくアースを取ること、ほとんどが解決するのです。本書では、私たちの10年の調査と経験から生まれた、シンプルで究極の対処法についてお伝えしていきたいと思えます。

日本のほとんどの住宅が「電気が逃げない住まい」になっている現実：：、これは日本独特の問題であることは後述しますが、家庭の電気の副作用⇨電磁波の影響を最小限に抑えた住まい「オールアース住宅」についても、本書でくわしくお伝えしていきます。

ブレーカーを落としたときの快適さが、誰にでも、ごく当たり前になるように：：。家族が集う家の中が、いちばん居心地がよい場所になるように：：。

原因がわからないアレルギー疾患を経験した人でしか、わからない苦しみがあります。また、患者だけでなく、治療を施す医師にも多くの苦悩があります。私が尊敬するある医師は、こう言っていました。

「すべての病気には原因があつて、その原因は多岐にわたります。医学のレベルがどれだけ上がつても、医者は患者の前を歩くことはできません。これが医者最大のストレスです。医者には、限界があります。その人の生活環境を調べてアドバイスすることは、できないのですから」

私と仲間たちが、電磁波測定で訪れた住宅は、10年あまりでおよそ1500件になります。そのうちの半数近くは、アレルギー疾患を抱えた家庭でした。私たちが見てきたのは、まさに原因不明のアレルギーや体調不良を解決しようとしている方の生活環境です。その現場を見て、解決してきたことを、今ようやく、こうして一冊の本として伝えられる段階になりました。

私たちが個別に対応してきた電磁波対策のノウハウを、家全体に施した「オールアース住宅」はすでに累計で600棟を超え、理解ある全国の地域工務店との連携より全国で普及が進んでいます。

前書では、ちょうどオールアース住宅の第一棟の導入の経緯について述べさせていただき、そのタイミングでの出版でした。今回は、その600倍の経験を踏まえた提案です。

これから、自分の大切な人たちの住まいを真剣に考える方への大切なお話をさせていただきます。この本でお伝えする対策を是非とも実践して、大切な家族への思いやりをかたちにしてください。

土田 直樹